

教育実習レポート（小学校）

残暑厳しい中、大阪成蹊大学教育学部（幼児教育コース・初等教育コース）3年生が初めての小学校での教育実習に参加しました。両コースの学生とも、2年生の時に、インターンシップを経験しているものの期待と不安を抱きながら、それぞれの実習先へ向かいました。どんな学びをしているのか、学生達にインタビューを行いました。

【小学校教育実習での学び】

《先生の姿から学んだこと》

- ・短時間でも児童との関わりを非常に大切にされている。学習時間だけでなく、様々な場面で児童と関わることで、児童理解を深めることができる。
- ・日々の授業の準備だけでなく、様々な業務（校務分掌）があり、大変忙しく過ごされているが、それをきちんとこなされていて、すごいと思った。
- ・授業の中で、早くできる子とそうでない子がいるが、配慮を要する児童に対して、常に気配りをされ、個に応じた指導に尽力されている。個人差をどう克服していくかが授業構築のポイントになる。
- ・児童を集中させるためにいろいろ工夫をされている。例えば、体育の時間等実技を伴う授業の場合は、友達がするのをしっかりと見せて、どうしたらうまくできるのか考えさせる。児童が自ら集中して取り組むことができるよう、指導者は、いろいろな手立てを考えなくてはならない。
- ・郊外学習の付き添いにも行かせていただいたが、先生方は、集団での移動、ホームでの電車の待ち方等、安全面での配慮に非常に気を遣われていた。学校外へ児童を引率して行くことは、思っていたより大変なことを実感させられた。
- ・給食指導では、おかずが多い場合は、自分が食べきれぬ分だけに減らして食べ残すことがないようにしていて、食べ切った量から、段々と食べる量を増やせるように指導されていた。食の細い子に強制的に食べさせるのではなく、食べ切れたという自信を付けさせることが次のステップアップにつながる。

・授業の流れの中で、一方的に教えるのではなく、必ず自分で考えさせる場を設ける。その積み重ねが、思考力を育て、自ら考える児童を育てることにつながる。

・児童同士のトラブルは、必ず両方の話を聞いて、お互いが納得いくような形で解決をさせる。また、個々のトラブルをクラス全員の課題として取り上げることもある。

・「帰りの会」で「今日のキラリさん」といって、良いことをした友達を紹介している。お互いのよさを見つけることで、認められているという意識が育ちクラスでの存在感が増す。

《児童の姿から学んだこと》

・先生のことを本当によく見ている。自分もいつも見られているということ意識して言葉遣い、姿勢、歩き方、食事の仕方等、気をつけていきたい。

・2年生という学年だが、見通しを持って行動できることに感心した。今までの経験が次の行動に生かされている。

・生活科で「うごくおもちゃ」作りをしていたが、うまく動くようにするためにどうすればよいか、児童同士で情報交換をしたり、アドバイスをしたりと、協同して学ぶ態度がついている。集団での学びの効果を感じさせられた。

《実習でがんばったこと》

・先生を見習って、短い時間でも毎日全員の児童と関わるようにがんばった。特に、そばに寄って来ない子には、配慮しながら声をかけるようにした。

・どう発問すれば、児童が応えてくれるか、いろいろ考えて授業に臨んだ。児童の反応をみて、次の発問を考えることは、むずかしく中々できなかった。

・実習ノートを一生懸命書き、先生が丁寧にコメントをくださったので、それを日々の実習の中で生かそうと努力した。

《反省点・実習で十分できなかったこと》

・黒板に字を書くのがむずかしく、板書計画もうまくできなかった。大学に戻ったら板書

の練習をしたい。

- ・朝学習の時に、課題をするのに個人差があり、早くできた子にどのような指示を与えたらよいのか、むずかしかった。個人差への対応を考えられるようにしたい。
- ・授業の時間配分がうまくできず、いつも、足らなくなってしまう。予想以外の児童の反応に戸惑ってしまって、思うように授業を進めることができなかった。

《実習で心に残ったできごと》

- ・配慮を要する児童が、最初は「やりたくない。」と駄々をこねていたが、あきらめずに何度も声かけをし、やっとやる気になってくれて、やり遂げた時の児童の笑顔が忘れられない。
- ・お楽しみ会のゲームの中で、児童からメッセージをもらう場があり、「先生になってもがんばって。」と言ってくれたことが、大いに励みになった。

《お世話になった方々に伝えたいこと》

- ・担任の先生の負担になるのに授業をさせていただいたり、教職員の皆様に様々なことでお世話になったり、また、温かく接して下さって実習をがんばることができた。「教員になりたい。」という思いも益々高まった。感謝の気持ちでいっぱいになった。ありがとうございました。

《子ども達へのメッセージ》

- ・元気いっぱいの皆さん、その元気をもとに勉強にも遊びにも励んでメリハリのある小学校生活を送ってほしい。
- ・皆さんと関わることの楽しさ、授業で一生懸命考えて応えてくれる姿を通して、益々先生になりたい気持ちが強くなったので、これからも先生になるための勉強をがんばりたい。

《後輩にひとこと》

・普段の生活の中で、大きな声で挨拶をする、はっきり返事をする、言葉遣いに気をつける等、礼儀正しく行動できるようにしておく。

・インターネット等で作成された指導案を丸写しするのではなく、自分で様々な場面を想定しながら発問や準備物等をしっかり考えて指導案を作成する学習に取り組む。

